

2022年11月18日

株式会社アダストリア

## 2023年2月期 上期決算 FAQ

10月7日(金)の2023年2月期 上期決算発表後、メディア、アナリスト、機関投資家のみなさまからいただいた主なご質問をまとめました。

### ■業績について

Q.上期の業績について

A.第1四半期は、行動規制緩和による外出需要の増加、ゴールデンウィークの人流の回復、トレンドを捉えた商品企画により増収となりました。第2四半期は、上海ロックダウンの影響によるサプライチェーンの乱れ、新型コロナウイルスの再拡大があったものの、概ね計画通りの売上高となりました。

利益面では、円安や原材料価格の高騰などのマイナス要因はありましたが、値引きの抑制などにより売上総利益率は改善し、増収効果で販管費率は低下したことにより、増益となりました。計画比では、売上高、利益ともに予想を上回る進捗となりました。

Q.売上総利益率の内訳について

A.今期から収益認識に関する会計基準を適用したことが0.4%の押し下げ要因となりましたが、値引き抑制に加え、関税や物流コストの効率化により、アパレル・雑貨関連事業の売上総利益率は前年同期比と同水準となりました。また飲食事業のゼットンを連結したことが1.0%の上昇要因となりました。

### ■海外について

Q.上期の海外各地域の販売状況について

A.香港では、新型コロナウイルスの影響があったものの、政府の電子商品券配布などで

円ベースでは増収を確保しました。中国大陸は、上海ロックダウンの影響により減収減益となりましたが、新たな進出エリアとなる南京、成都への出店が進捗しました。台湾では、新規ブランドの投入と新店オープンが寄与し、アメリカでも消費環境の恩恵と卸事業の受注増により、増収増益となりました。海外事業全体では、黒字を維持しました。

## ■価格方針について

Q.為替や原材料価格の高騰の影響と、商品の価格改定について

A.原材料価格や円安により、売上総利益率についてはマイナス影響がありますが、ASEANへの生産移管やブランド横断の原料調達などにより、原価抑制に取り組んでおります。商品の価格については、一律の引き上げはしておりませんが、付加価値を向上しながら、単品ごとに価値とのバランスが取れた価格を設定してまいります。

## ■ライセンス事業について

Q.FOREVER21事業を開始する狙いについて

A. FOREVER21は今でも日本市場で高い知名度があり、当社のサプライチェーンの強みを活かして、日本にローカライズしたファッションを提供することで、強いブランドを構築できると考えています。またノウハウを蓄積し、今後のライセンス事業拡大につなげていくことを目指しております。

以 上